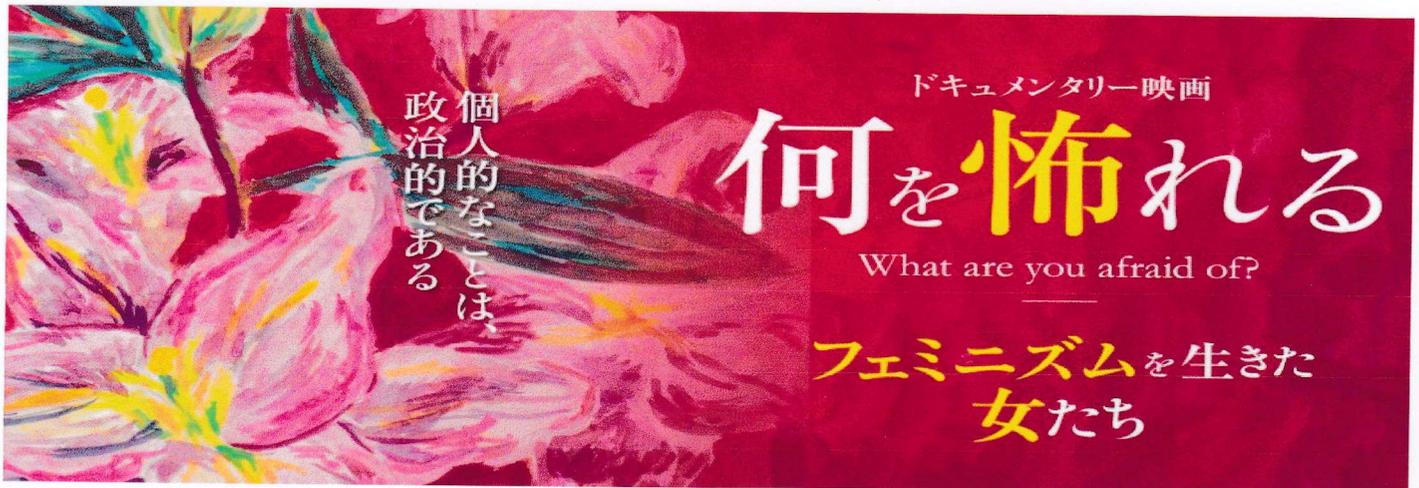


映画『何を怖れる フェミニズムを生きた女たち』★WAN★試写会キャンペーン



本作品は、『ユキエ』『折り梅』『レオニー』の松井久子監督が14人のフェミニストたちをインタビューした初のドキュメンタリー映画です。

1970年代初頭にウーマンリブが始まった頃、彼女たちはまだ20代、30代だった。

おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた。

その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく

つよい意志をもって生きてきた。

男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目にさらされても

すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら

つねに女たちと共感し、女たちとつながって

老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している

そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？

次の世代に何を伝えようとしているか？

■監督：松井久子 ■制作：「フェミニズムを生きた女たち」をつくる会 ■上映時間：111分

■出演：池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、近山恵子(駒尺喜美)、中西豊子、田中喜美子、田中美津、樋口恵子、米津知子 (あいうえお順・敬称略)



このたび、映画『何を怖れる フェミニズムを生きた女たち』を1回だけ、鹿児島市で上映することになりました。当日はウィメンズアクションネットワーク(WAN)副理事長で全国的にご活躍の渋谷典子さんをお招きしています。ぜひこの機会に、この映画の感想や女性の活動についてなどを、渋谷さんとお話してみませんか？ご来場をお待ちいたしております。

★ 映画&トークシェアリング ★

【日時】2016年2月18日(木) 13:30~16:00 (開場 13:00)

【会場】鹿児島市中央公民館 3階会議室 (鹿児島市山下町5-9) 【参加費】500円

【主催】「何を怖れる」かごしま試写会実行委員会

【共催】認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)

【お問合せ】e-mail naniwoosorerukagoshima@gmail.com TEL080-3903-3108